

大会テーマ及びシンボルマークの募集等について

令和6年春に岡山県で開催される「第74回全国植樹祭」を広く全国に周知し、開催機運を高めるため、開催理念等を簡潔に表現した「大会テーマ」及び県のイメージキャラクター「ももっち・うらっち」を使用した「シンボルマーク」を募集するもの。

1 募集期間

令和3年8月5日から令和3年10月15日まで

2 賞

最優秀賞1点、優秀賞3点程度

3 活用方法

- ・ノベルティグッズ等の啓発資材や専用ホームページに活用
- ・「大会テーマ」に沿った式典等の演出を検討

4 募集方法

(1) 大会テーマ

はがき、封書、ファクシミリ、電子メール及び電子申請

(2) シンボルマーク

応募用紙を郵送

※(1)・(2)ともに第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局（岡山県環境文化部全国植樹祭推進室）あてに提出

5 その他

(1) 大会テーマ・シンボルマーク

審査会等を実施し、第4回総会において、報告

(2) 大会ポスター原画

令和4年4月から募集開始予定

<参考>開催理念

- ・第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努める。
- ・県民一人ひとりのさらなる緑化意識の向上を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、緑あふれる郷土を未来の子どもたちへつないでいく。
- ・県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信する。

全国植樹祭 大会テーマ募集状況

開催県	第74回(令和6年)岡山県案	第73回(令和5年)岩手県	第72回(令和4年)滋賀県	第71回(令和3年)島根県
採用作品	-	緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から	木を植えよう びわ湖も緑のしずくから	木をつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪
作 者	-	藤田若葉 (岩手県・中2)	保岡直樹(東京都)	吉田隆博(島根県)
募集方法	全国公募	全国公募	全国公募	全国公募
募集期間	R3.8.5~10.15(72日間)	R1.12.25~R2.2.21(59日間)	H30.10.12~11.30(50日間)	H29.9.15~11.15(62日間)
送付方法	葉書、封書、FAX、メール、電子申請	葉書、封書、FAX、メール	葉書、封書、FAX、メール	葉書、封書、FAX、メール
賞	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円
選定理由	-	【選定理由】 宮沢賢治が理想郷として表した「イーハトーブ」が自然と人と調和する岩手県らしさを象徴。「緑をつなごう」、「輝く」が森林の継承、震災復興を表し、開催理念も見事に表現されている。	【選定理由】 わかりやすい言葉で水、木、森、湖の繋がりを表現できている。	【選定理由】 人と森との深い繋がりが島根らしさを感じさせ、第71回全国植樹祭の開催理念も上手く表現された作品である。

全国植樹祭 大会シンボルマーク募集状況

開催県	第74回(令和6年)岡山県案	第73回(令和5年)岩手県	第72回(令和4年)滋賀県	第71回(令和3年)島根県
採用作品	ももっち・うらっち(例) 			
作 者	-	杉山市郎(千葉県)	松岡英男(山形県)	松浦康友(島根県)
募集方法	全国公募	全国公募	全国公募	全国公募
募集期間	R3.8.5~10.15(72日間)	R2.8.7~9.30(55日間)	H31.2.12~3.31(48日間)	H30.4.26~6.25(61日間)
募集内容	指定キャラクター(ももっち・うらっち)のポーズ・服装等・周辺デザインを募集	指定キャラクター(変更不可)の周辺デザインを募集	自由デザインを募集	指定キャラクターのポーズ・周辺デザインを募集
送付方法	郵送	郵送	郵送	郵送
賞	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀5点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞10万円 優秀3点賞状・副賞1万円	最優秀1点賞状・副賞5万円 優秀3点賞状・副賞1万円
選定理由	-	【選定理由】 森をイメージした緑のキャラクターが笑顔でわんこきょうだいを包む様子は、親しみやすさと同時に、人と自然との共生を象徴し、大会のテーマの「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」にも通じている。また、輪郭が県名の由来である三ツ石神社の石や岩手県の形にも似ているなど、岩手らしさも表現された、本県の大会にふさわしい作品として評価された。	【選定理由】 琵琶湖とそれを取り巻くみどりのなかに「よろこび」が感じられるデザインである。	【選定理由】 島根らしさを感じさせる要素がバランス良く配置され、親しみやすい作品となっている。大会テーマがよく表現されている。シンボルマークとしての完成度が高く、造形的に良くまとまっている。